

文化施設 ご案内

でんこく 篆刻美術館



◆開館時間／9:00～17:00
(入館は16:30まで)
◆料金／大人200円、小中高生50円
◆休館日／月曜日、第4金曜日
(祝日の場合は開館)、祝日翌日・年末年始
☎0280-22-5611

鷹見泉石記念館



◆開館時間／9:00～17:00
(入館は16:30まで)
◆料金／無料
◆休館日／月曜日、第4金曜日
(祝日の場合は開館)、祝日翌日・年末年始

古河歴史博物館

◆開館時間／9:00～17:00
(入館は16:30まで)
◆料金／一般400円、小中高生100円
「特別展」の場合は変更になる場合もあります
◆休館日／月曜日、第4金曜日
(祝日の場合は開館)、祝日翌日・年末年始
☎0280-22-5211



古河文学館



◆開館時間／9:00～17:00
(入館は16:30まで)
◆料金／大人200円、小中高生50円
◆休館日／月曜日、第4金曜日
(祝日の場合は開館)、祝日翌日・年末年始
☎0280-21-1129

古河街角美術館



◆開館時間／9:00～17:00
(入館は16:30まで)
◆料金／無料
◆休館日／月曜日、第4金曜日
(祝日の場合は開館)、祝日翌日・年末年始
☎0280-22-5911

永井路子旧宅



◆開館時間／9:00～17:00
(入館は16:30まで)
◆料金／無料
◆休館日／月曜日、第4金曜日
(祝日の場合は開館)、祝日翌日・年末年始

お休み処 坂長



◆営業時間／9:00～17:00
◆定休日／年末年始
☎0280-22-2781
(国登録文化財)江戸時代初期から古河城下で営んでいた商家の建造物を修復した施設。

私たちがご案内いたします!

古河公方ゆかりの社寺や、江戸時代からの貴重な文化財などが市内のあちらこちらにあります。

私たち『観光ボランティアガイド』は、案内役を「無料」でお引き受けしております。

予約制となっておりますので、ぜひお問い合わせください。



▲ガイドの様子

◀鷹見泉石記念館

古河市観光ボランティアガイド協会

【受付・問合せ】観光案内所(駅構内) 【電話・FAX 番号】0280-30-3434 【受付時間】AM10:00～PM3:00
(土日祝 AM9:00～PM3:00)

お問い合わせ (一社)古河市観光協会 TEL0280-23-1266

7000歩で歩ける 古河七福神めぐり

約7000歩で歩ける
2時間ほどのコースを
散策しながら
新年の福を
呼び込みましょう。

七難即滅 七福即生
幸せを呼ぶ

七福神



ほていそん

布袋尊

円満、金運の神様

七福神の中で唯一実在した人物で、中国の禅僧「契此(かいし)」であるといわれる一方、弥勒菩薩(みろくぼさつ)の化身であるといわれている。天候や吉凶を予知する力を持つ。



ふくろくじゅ

福祿寿

不老長寿、 富貴の神様

中国の道教の神様で南極老人星の化身として祀られ、寿老人と団体異名という説もある。長い頭と低い背丈、立派な髭が特徴で、鶴をつれている。年齢は1000歳を超える長寿の神。



べんざいてん

弁財天

学問、芸術、 財福の神様

七福神唯一の女神。古代インドで水の神として祀られ、河水の流れる音や姿から音楽や芸術の神として、またよどみなく流れる水から弁舌才智の神として信仰されている。



えびす

恵比寿

商売繁盛の神様

七福神の中で唯一の日本の神様。右手に釣り竿、左手に鯛を持った姿で描かれ、すべての「めでたい」ことを授ける心が表されている。



びしゃもんでん

毘沙門天

厄除けの神様

元はインドの神で、中国では多聞天として祀られる。仏法を守護する四天王の神で北方を守り、その勇猛な姿は人々に勇気を授ける。



だいくてん

大黒天

豊作、財運の神様

もとはインドのヒンズー教の神様で日本の大国主命(おおくにぬしのみこと)と習合され、信仰が広まった。財宝を生む打出の小槌により、人々に幸福をもたらす。

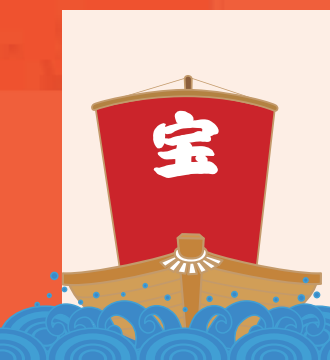


じゅうじん

寿老人

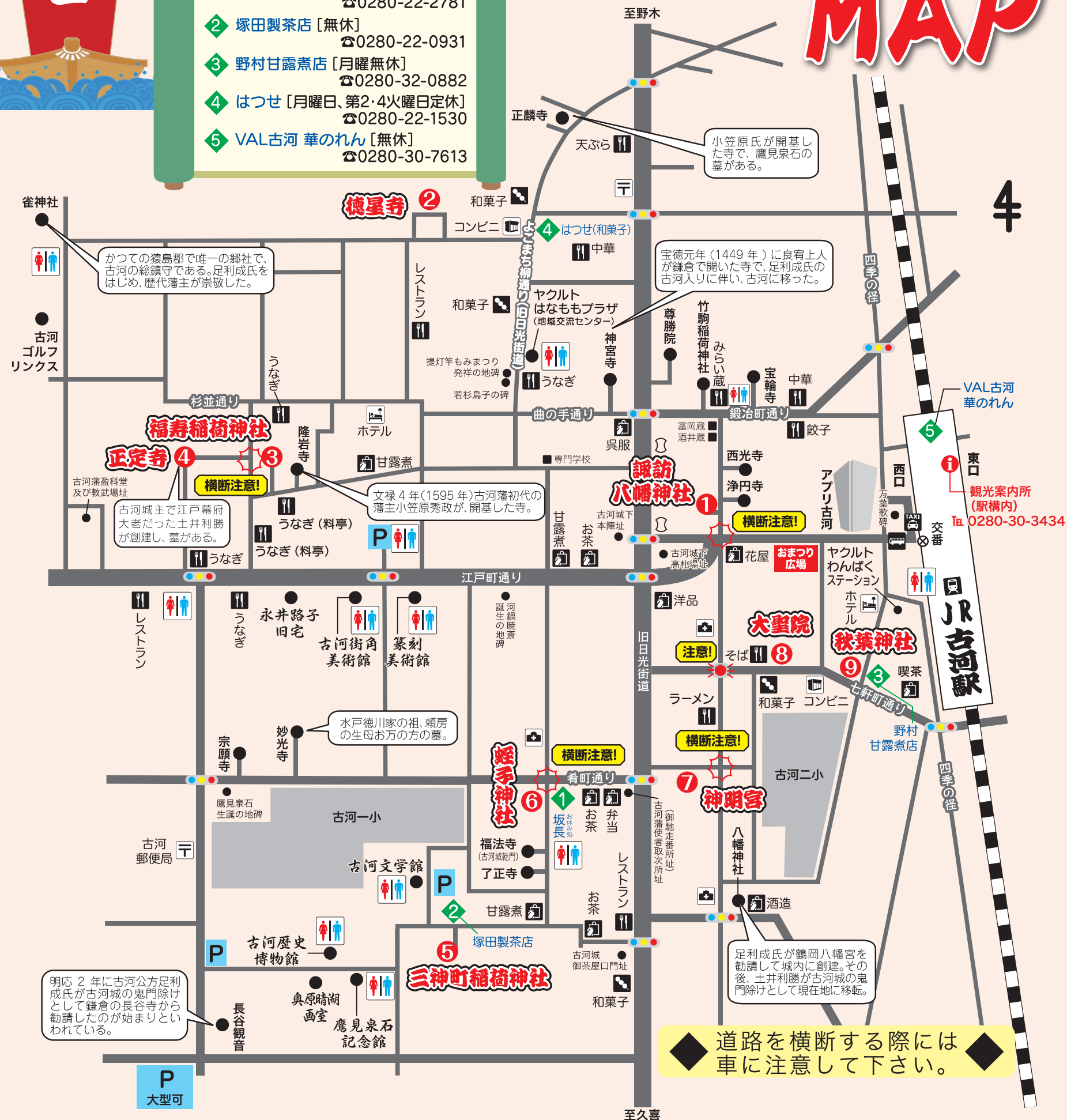
不老長寿の神様

中国の道教の神様で南極老人星の化身として祀られている。人の寿命を記した巻物を持っており、寿老人に従っている鹿の肉を食べると二千年の寿命を保つといわれている。



- ◆ 有料台紙販売所
- 1 お休み処坂長 [年末年始休館]
☎0280-22-2781
 - 2 塚田製茶店 [無休]
☎0280-22-0931
 - 3 野村甘露煮店 [月曜無休]
☎0280-32-0882
 - 4 はつせ [月曜日、第2・4火曜日定休]
☎0280-22-1530
 - 5 VAL古河 華のれん [無休]
☎0280-30-7613

MAP



布袋尊
諏訪八幡神社
本町1-3-49
はじめは古河城諏訪曲輪（現歴史博物館）にあったが、土井利勝が諏訪曲輪を出城とした際に現在地へ移した。

弁財天
徳星寺
横山町3-3-58
建治元年（1275年）創建。古河城内に開山後、鴻巣へ移り、その後現在地に移る。境内には千手観音堂（安産・子育てにご利益）や、大師堂などがある。

寿老人
福寿稲荷神社
中央町1-7-4
市内稲荷神社の中で最大・豪華な造りであったが全焼し、現社殿は平成15年に再建された。明治8年頃までは、隣接の隆岩寺の守護神とされていた。

弁財天
正定寺
大手町7-1
蛇冠弁財天は、春日局が將軍家光から拝領したものを古河城主だった養子の堀田正俊にゆずり、正俊が弁天堂を建て正定寺に奉納したという。

福祿寿
三神町稲荷神社
中央町3-7-3
古河城の鬼門除けとして創建され、明治になってから町内で管理するようになったという。子供稲荷とも呼ばれている。

おすすめコース
北回り 南回り
Illustration of a family walking along a path.

毘沙門天
秋葉神社
本町2-2-14
秋葉神社は古河城主土井利位（どいとしつら）が、駿州秋葉神社より分霊したもの。火伏せの神としてまつられている。現社殿は昭和2年に再建。

弁財天
大聖院
本町2-4-18
山門前の左手の山王宮は、古河で最も古い社と言われている。現在は観音・地藏・弁天が合祀されており、神仏習合の名残りである。

大黒天
神明宮
本町2-12-37
神明宮はもとは正蔵院の境内社だったが、後に町内で管理するようになった。明治10年、境内に古河小学校分校（神明校）が設けられたため現在地に移築。

恵比寿
蛭子神社
中央町3-9-1
文化11年（1814年）創建。現在地より南東方面にあったものを明治45年に現在地に移し、町内鎮守とした。祭神は蛭子命（ひるこのみこと）で商売繁盛の神として信仰されている。